

金して4月中に国際医療ボランティアAMDA(岡山市北区伊福町)に届け、人道支援活動に役立ててもらおう。

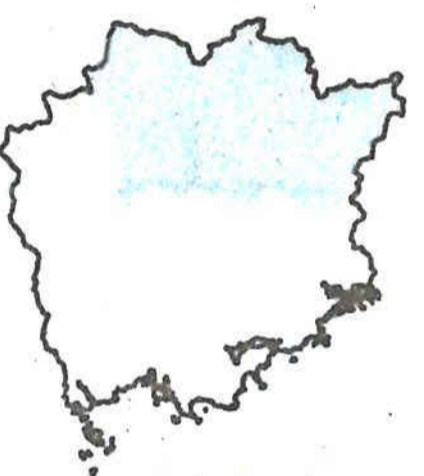
昨年12月12日～2月20日、商工会エリア(津山市阿波、加茂、勝北、久米地域、奈義町)の公共施設やスーパーなど19カ所に回収箱を設置して市民らに協力を呼びかけた。商工会本部(同市新野東)には岡山市からの郵送もあったという。

本部で17日、部員2人が集計。はがきは計2767枚(額面17万8365円)、切手は計480枚(同3万627円)になった。

女性部の水島房江部長(69)は「市民をはじめ、県内20の商工会も活動に賛同してくれてありがたい。戦争や災害、貧困に苦しむ人の支援に使ってもらいたい」と話している。

(内田貴大)

作州



書き損じはがき、切手3247枚

作州津山 AMDA届け支援に
作州津山 商工会女性部



寄せられたはがきや切手を集計する水島部長(右)ら

作州津山商工会女性部が昨年12月から募っていた書き損じはがき

や未使用切手が計3247枚、額面20万8992円分になった。換